



学校だより

御前崎市立白羽小学校

かがやく浜の子

平成28年2月

『双方向の取り組みで 変わる 変える』

冬の厳しさが和らぎ春めいた日が続くかと思うとまた、強く冷たい風が吹く日が続いたりして寒暖の差が激しい日が続いています。学校では、心配されたインフルエンザの流行も少しずつおさまりを見せ始めました。しかし、油断大敵。引き続き注意をお願いします。

今月10日には「白羽小あいさつの日」への御参加ありがとうございました。寒い中、通学路に立ち「あいさつ+1」の声かけをしてくださっている皆さんに心から感謝いたします。PTA会長様始め会員の皆様にも御参加いただき、これからも地域とともに「白羽小あいさつの日」の取り組みが広がり、根付いていきますよう御協力をお願いいたします。地域の皆様の熱い思いを受けて、本校の子どもたちも6年生を中心に「ハイタッチあいさつ」の取り組みがスタートしました。「いつでもどこでも誰にでも一人でも」の合い言葉のもと、あいさつリーダーがたすきを掛けてハイタッチあいさつをしています。学校から地域から双方向の取り組みで地域にあいさつの輪が広がり、心のつながりや子どもたちの健全育成につながっていくことを願わずにはられません。3月10日の「白羽小あいさつの日」の取り組みを大人の皆さんの働きかけでさらに盛り上げていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

白羽小学校 目指す浜の子の姿

今学校では、本年度の教育活動を振り返り来年度の構想を立てる教育課程編成会議を行っています。12月に保護者の皆様や子ども、教職員を対象としたアンケートや、教育委員、学校評議員の皆様からの御意見、日頃の教職員の具体的な見取りを分析したものをデータとし、本校の28年度の教育活動を構想しています。本年度は教職員で本校のよさと課題を明確にしました。

来年度に向けた目標は、「真面目に取り組むことができるよさを活かし、子どもたちの内面にある主体性を引き出すこと」そして、「スクラムでみんなの学校をみんなで作くりわたしの学校にすること」を目指す学校像に掲げ、大人(保護者や地域の皆様、教職員)と子どもが一緒になって学校づくりをしていきたいと考えます。大切なキーワード「よさを活かす」「主体性」「みんなの学校づくり」を大事に、一緒に白羽小学校をつくってください。今、この学校だよりを手にして、読んでくださっているあなたもその一人です。よろしくお願ひします。



参観会

子どもの言葉あれこれ 「子どもはすてき 言葉っておもしろい」(その1)

生活科の学校探検で校長室に来た1年生のAさんの一言

「校長先生ってお金持ちだね。だって、ソファやでっかい金庫があるもん。」

校長のつぶやき…(この金庫いっぱいにお金が入っていたらすごいよね……

中は全部書類だけだね……)

(校長 増田久美子)

